



つながる

協創自 校
力造主 訓

R8. 4. 8(水)No.1 立野 健一

荒尾第三中学校の基本理念

荒尾第三中学校に集うすべての人々の幸せを追求する

校長の立野健一です。2年目になります。本年もどうぞよろしくお願ひします。

さて、本校の基本理念は上に書いてある通りです。基本理念とは、「なぜ三中という組織が存在するの?」という問いの答えとなるものです。

では、なぜ「幸せになる」ではなく、「幸せを追求する」なのか?私の幸せが、必ずしも皆さんの幸せになるとは限りません。だから、互いが思いを伝えあい、納得解を見つけて、お互いに幸せになりましょうという意味を込めています。これは集団生活を送るうえでは一番の基本となるものです。全ては「みんなの幸せ」のためです。

次に「重点的に育成をめざす資質・能力」は以下の通りです。

- 1 周囲とつながる力
- 2 人権感覚を身に付け考動する力
- 3 コミュニケーション能力 (傾聴力・対話力・発信力)
- 4 想像する力
- 5 踏ん張る力

予測不可能な社会をたくましく生き抜いていくために、生徒たちはたくさんの力を身に付けなければなりません。その中でも特に重点的に育成をめざすものがこの5つです。これは決して校長の思いだけではありません。

R8.1月 ①「重点的に育成を目指す資質・能力」「目指す生徒像」の職員アンケート。

R8.2.13 ②第5回学校運営協議会。生徒会執行部と委員の方々と、①をもとにワークショップ。

R8.3月 ③校長が②の内容をまとめ、生徒会執行部に更に検討を依頼。検討後、提出。

R8.3.25 ④校内研修にて全職員によるワークショップ。①～④すべてをふまえて実施。

R8.3.25 ⑤校長が中心となり、④の内容をまとめ、「重点的に育成を目指す資質・能力」「目指す生徒像」の素案を作成。

この流れで作成しました。なぜこの資質・能力を重点的に育成すべきなのかという詳しい思いについては、PTA 総会の際に生徒会執行部が説明します。この「資質・能力」を「生徒・学校・地域・行政・家庭」の五者で共有し、地域学校協働活動等により、特色ある教育活動を推進することが求められています。

今年は、昨年からさらにパワーアップした生徒たちの生き生きとした姿をお見せできると思います。決して他人ごとではない、自分のこと。「自分意識」を高めていきます。

さて、二つの資質・能力が太字になっていますが、この二つは「土台となる力」です。この二つの力が備わっていなければ、どんな活動を行っても、様々な力を育成できないというとても大事な力です。

続いて「めざす生徒像」ですが、これは「重点的に育成をめざす資質・能力」が見に就いたかどうかを判断する評価規準です。「こんな姿が見えれば、この力が身についた」と判断するものです。すべて「重点的に育成をめざす資質・能力」とリンクしています。

- 1 自分や相手の良さに気づき、自ら心を開いて居場所を見つける生徒（周囲とつながる力）
- 2 相手や物事の背景を考え、正しい判断ができる生徒（人権感覚を身に付け考動する力）
- 3 相手の思いを受け止め、根拠をもとに自分の思いを表現できる生徒（コミュニケーション能力）
- 4 周りの思いや自分の未来を見据えて、自ら動く生徒（想像する力）
- 5 失敗を恐れずに挑戦し、あきらめずにやり抜く生徒（踏ん張る力）

そして、こんな生徒や職員がたくさん集まっている学校ってどんな学校だろう・・・それが学校の教育目標となります。

幸せをつかむ～仲間とつながる、未来とつながる、地域とつながる～

この学校目標には、次の思いが込められています。

(1) 幸せをつかむ

- ・生徒一人一人が、毎日の学校生活の中でやりがいや楽しみを見出すことが、「今」の幸せにつながる。それだけではなく、生涯にわたって幸せであるための土台作りをすることが重要である。
- ・生徒の今の幸せと、将来の幸せの土台作りに関われることに喜びを感じる職員でありたい。生徒、教師ともにウェルビーングな学校となるように教育効果の最大化を目指す。

(2) 仲間とつながる

- ・全ての人々の居場所を確保（生徒も、職員も、保護者も）する。
- ・「居場所」とは、教室等のハード面のみならず、個々の役割（自分は集団の役に立っているなど）も含む。
- ・「自らが心を開かなければ、相手も心を開かない」を強く意識する。

(3) 未来とつながる

- ・ソサイエティ5.0を生き抜いていく力を養う。「重点的に育成をめざす資質・能力」だけでなく、基礎基本をはじめとする学力も付けなければならない。
- ・ちょっとした意識を変えることによって、日常生活の向上をはかる。

(4) 地域とつながる

- ・子供は地域の宝。地域全体で子供を育むためにも、地域学校協働活動の充実が不可欠。
- ・生徒のコミュニケーション能力を高める。また、生徒の良さを地域にアピールし、生徒の自己肯定感を高める。将来、「荒尾に戻ってきたい」と思えるきっかけとなる。

ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。